

# My Antenna

- あなたの敏感で繊細な感受性 -

芸術研究科 造形表現専攻  
デザイン領域 博士前期課程  
2025年3月修了

紀野 はるか

主査 岩田 敦之 副査 井上 貢一 佐藤 慈

## 研究背景

近年、HSP (Highly Sensitive Person) がメディアや書籍で広く取り上げられ、2020年頃から一般に認知されるようになった。一方で、情報の急速な普及により誤解や偏った認識も広がり、否定的な印象が定着する懸念があった。こうした状況を受け、一般の人々が正しい理解を深めるための学術的な情報提供の重要性が強調されている。

## 研究目的

本研究の目的は、HSPに関する正確で学術的な情報を発信し、一般的に広がっている誤解や偏見を解消することにある。具体的には、モーショングラフィックスを活用し、視覚的にわかりやすく心理学の視点からHSPの学術的知識の効果的な情報発信を行う。それによって、HSPの特性について正しい理解を促し、HSPに対するネガティブなイメージを転換することを目指す。

## 研究概要



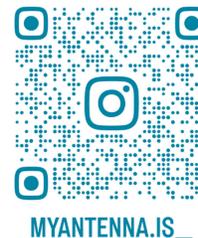
研究ページ



YouTube



Instagram



## 成果・まとめ

本研究は、モーショングラフィックスの活用が、HSPに関する正確な知識を効果的に伝え、視聴者の理解を深める有効な手段であることが確認された。基礎知識編動画によりHSPへのネガティブな印象が改善され、キャラクターやデザインが情報への心理的ハードルを下げる効果が評価された。また、似顔絵コンテンツでは、個人の感受性を「アンテナ」として象徴化し、自己受容や多様な感受性を肯定的に捉える価値観の醸成に寄与する可能性が示された。

この研究を通じて、インターネット上の情報と学術的な情報との間に生じる相違点を理解し、その結果として生じる危険性についても認識を深めてもらうことが期待される。



## 指導教員コメント

本研究は、HSPに関する情報発信をテーマに、長期的な探究の成果をデジタルコンテンツとしてまとめたものである。内容の正確性を確保するため、臨床心理の専門家に検証を依頼し、計画的に調査・制作を進めた点が特徴的である。また、芸術研究の枠を超え、心理学的視点を積極的に取り入れた学際的な取り組みとなっている。さらに、専門的知見を情報デザインのアプローチによって活用し、信頼性を維持しつつ、視聴者にとって理解しやすいデジタルコンテンツとして構築した点も評価に値する。

岩田 敦之